

交通安全のポイント

令和4年7月15日
福島県警察本部

1 人身交通事故発生状況（7月14日現在の概数） ※（ ）は前年同期比

発生件数	死者数	高齢者	けが人数
1,416件 (-144件)	21人 (±0人)	15人 (+4人)	1,632人 (-157人)

※上記概数に下記浪江町の死亡事故は計上されていません。

2 降雨時の死亡事故発生

7月14日(金)午後5時23分頃、双葉郡浪江町の県道で、普通車が前車を追い抜いた際、単独交通事故を起こし、車両が炎上する交通事故が発生し、その後炎上した車両の内部から性別不明のご遺体が発見されるという交通死亡事故が発生しました。

交通事故が発生した当時天候は雨で、路面は濡れていました。

福島県は梅雨明けが発表されていますが、天候不順な日が続いています。

降雨など、天候が悪い時は

- 視界が悪くなるうえ、窓ガラスが曇ったりするなどの悪条件が重なり、危険度が高くなります
- 路面が濡れて制動や操作に悪影響を及ぼすおそれがある
- 「晴れの日と同じ運転をしている」と、スリップや横滑りなど車が異常な挙動をすることがある

など、交通事故の危険が増加します。

3 安全運転のアドバイス

ハイドロプレーニング現象ってなに！？

水の溜まった路面などを高速走行中、タイヤと路面の間に水の膜ができて摩擦力が失われ、タイヤが水に浮いた状態となり、ハンドル操作や減速など全ての制御ができなくなることです。

ハイドロプレーニング現象を防ぐには…

- ◎ タイヤなど車両の点検整備の徹底
摩耗したタイヤはスリップしやすくなりますので、タイヤの点検整備をしっかりとしましょう。
- ◎ 晴れの日よりも速度を落とし、車間距離を十分とって運転する
速度が高いほど、ハイドロプレーニング現象は発生しやすくなります。
(また、路面が濡れているときは、乾燥した路面に比べてスリップしやすいことや、ブレーキを踏んでから車が止まるまでの距離が長くなることから、事故の発生が高まります。)



～令和4年夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動が始まります！！～

◎期間 7月16日(土)～25日(月)

◎スローガン 「締めました！」 乗る人みんなの 合言葉」です。

・ドライバーの皆さん！

横断歩道での歩行者優先はマナーではなくて、ルールです。横断歩道に近づいたら、歩行者の有無を確実に確認しましょう。

・歩行者の皆さん！

夜間外出する際は、夜光反射材や懐中電灯を活用し、自分の存在をアピールしましょう！また、道路を横断するときは、横断開始前はもちろん、横断中も安全確認や手上げ横断などにより事故に遭わないようにしましょう。